

会 議 録

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 5 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和 4 年 1 2 月 6 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 1 1 時 1 5 分		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室 B		
出 席 委 員	阿部光子委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員 齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	今村誠委員		
事 務 局 員	松本浩明主任、伊藤修主事、永嶋汐美 (会計年度職員)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者 数	なし
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会 (1 1 月 9 日開催) の報告</p> <p>2 令和 5 年度講座企画案について</p> <p>3 第 5 9 回東京都公民館研究大会の参加について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <p>〔報告〕 高齢者学級「けやき学級」、成人学校「楽しくトレッキング紅葉編ー都民の森」、市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント講座」、市民講座「山本有三を知る」、成人学校「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」</p> <p>〔計画〕〔令和 4 年度〕 成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」、音楽鑑賞のつどい スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」 〔令和 5 年度〕 高齢者学級「けやき学級」</p> <p>5 その他 なし</p> <p>次回の日程 令和 5 年 1 月 4 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 公民館貫井南分館学習室 B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会（11月9日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

10月27日（木）国分寺市本多公民館で10月1日（土）開催の委員部会研修会について意見交換等を行った。研修会は東京都公民館連絡協議会のHPに掲載済み。今年度の研究大会「コロナ禍を乗り越え進化する公民館」（仮題）は、会場を小平市中央公民館他、西東京市、国分寺市での会場開催も検討している。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から市民講座「男のための掃除道入門」、成人学校「空手の形を体験してみよう」を提出。委員からは報告の中に年代別参加者数の記載、開催曜日について土日開催で、平日参加できない方への配慮をお願いしたいとの意見が出された。

ウ 講座管理システムについて

今年度10月から5年契約の賃貸借を行うシステムは、今年度テストを行い、来年度本格運用に入る。遠隔地にいる講師からの配信による学習室での講座、公民館に来館できない方への配慮として、機器を通して自宅のインターネット画面への配信を行う。テストは公開を行わないが、公民館運営審議会、企画実行委員にも協力いただき、画面確認を行ってもらう予定。講座の運営方法は検討中。

(2) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館から成人学校「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」、市民講座「私の、家族の、高齢期への備えを考えよう“成年後見人制度”について学ぶ」を提出。質疑なし。市民映画会は実施会場を固定しないよう要望が出され、検討課題とした。

(3) 協議事項

小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について ⇒ 公民館長から委員長へ諮問を行った。

回答に要する審議期間が今回及び1月、4月の計3回となるが、委員長提案で3月も協議を行うこととなった。緑分館の特色、事業評価のタイミング、稼働率についての質問が出たこと、緑分館を青少年センター機能があることから

子どもの育成の拠点とするのはどうかなどの意見が出された。今後の進め方について事務局で骨子案を作成することとした。

(4) その他

ア 公共施設予約システムについて

令和5年4月からリニューアルとなり、市民向け操作説明会を実施する。

イ 公民館使用料について

社会教育活動の線引きが難しい。徴収方法等について他市へ調査を行う。

2 令和5年度講座企画案について

10月の企画実行委員の会議での企画案について、金ヶ江委員から市民講座「人物シリーズ」(東京にある文豪の記念館)の資料及び追加企画案が提案され、今後、定番の講座カリキュラムの他、今年度が9月、10月に講座実施が集中したため、具体的に何を実施するかと開催時期計画について検討を行う。企画案の中にはなかったが今年度実施した「アンガーマネジメント」については、来年度も実施することとした。また、利用者団体のつどい(貫井南センターまつり)の来年度公民館イベントは、木管五重奏(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)を実施予定。

3 第59回東京都公民館研究大会の参加について

令和5年2月4日(土)に開催予定の研究大会(メイン会場:小平市中央公民館)について、企画実行委員へ分科会(課題別集会)の説明を行い、後日第一希望から第3希望の確認を行うこととした。

4 各講座の報告と計画

【報告】

○高齢者学級「けやき学級」

5月18日から11月9日の原則第1・2・3水曜日の開催(8月は休講)で終了した。当初の予定から変更せざるを得ない事態が発生した中で一番は野外学習の行先変更であった。神奈川県横須賀から葛飾区柴又へ変更となったことで、「都外へ行けると思っていたが残念」という意見が参加者からはあった。今後は予算内示額の減額により行先変更も考えられるので、チラシ等では「変更の可能性あり」と明記することの確認を行った。また、参加者からは他の班の方とも交流がしたいとの意見も聞かされたがウィズコロナということもあるが、次年度以降に向け検討を行う。

○成人学校「楽しくトレッキング紅葉編―都民の森」

11月2日（木）に事前学習、11月8日（火）にトレッキングを実施。今回、事前学習も齊藤委員の資料が充実していたため、前回よりもレベルアップした内容となった。実施では出発時点でマイクロバス点検の不具合から出発が遅れたトラブルも発生し、現地でのトレッキングスタート時間に影響が出た。但し、歩くコースの確認も必要であること、時間配分の中でコース変更も視野に入れる必要もあることの確認を行った。今回の参加者は健脚揃いであったのは良かったが、前を歩く列にどうしてもスピードが出てしまうことから、歩く列を前と後ろを途中で交代することへの工夫も必要ではないかとの意見が出され、次回実施への検討課題とした。

○市民講座「怒る人にも怒れない人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント講座」

11月16日（木）午前10時から正午に実施。参加者も30歳代からの参加があり、若い世代の参加があり、大変有意義な講座となった。応募も定員をオーバーし関心の高さが伺える結果となり、来年度以降も継続して実施していくこととした。

○市民講座「山本有三を知る」

11月17日（木）、24日（木）午前10時から正午に実施。昨年度「太宰治を知る」（人物シリーズ）に続いての実施となった。定員20人に対し応募が12人と少なかったのが残念であったが、男性が女性に上回ったことが嬉しかった。タイトルの山本有三に「作家」と入れるべきであったと反省が残った。

○成人学校「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」

12月3日（土）午前10時から正午に実施。今回も応募が10人に対し26人であった。抽選となったが、参加者の殆どが初めての方であったことから人気の高さや年齢にとらわれず受け入れられるものであることが分かってきた。来年度も実施予定。

【計 画】

〔令和4年度〕

○成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」

来年度、NHK朝ドラマの主人公となる植物学者の牧野富太郎を紹介することで、近隣に練馬区立牧野記念庭園があることや野草に対しての感心を持ってもらうこと、こんな生き方もあるということを知ってもらいたいことから企画

に至った。講座は来年3月5日（日）に庭園学芸員を招き、実施予定。

○音楽鑑賞のつどい スプリングコンサート「東京学芸大学ウインドアンサンブル」

来年3月12日（日）に実施予定。楽曲が決まってきた。親子で気軽に参加して聴くことができる楽曲を選定してされた。

〔令和5年度〕

○高齢者学級「けやき学級」

本日の午後2時から来年度のカリキュラム選定の打ち合わせを行う。定番の講座の他、新しい内容を盛り込んでいく予定。また、1月4日（水）には高齢者学級担当者会議を開催予定となっている。その中で来年度の学級生人数をどうするか議論となるため、貫井南分館ではウィズコロナ、野外学習運営を考えた時に1班に5人で4班から来年度貫井南分館としては、1班（現在5人）1人増やし、全体で24から25人体制での実施を提案することとなった。

5 その他 なし

次回の日程（予定） 令和5年1月4日（火）午前9時30分～ 学習室B

第36期小金井市公民館運営審議会 第11回審議会の報告

(令和4年11月9日開催・第二庁舎801会議室)

1 報告事項

ア 東京都公民館連絡協議会委員部会の報告について

10月27日(木)国分寺市本多公民館で10月1日(土)開催の委員部会研修会について意見交換等を行った。研修会は東京都公民館連絡協議会のHPに掲載済み。今年度の研究大会「コロナ禍を乗り越え進化する公民館」(仮題)は、会場を小平市中央公民館他、西東京市、国分寺市での会場開催も検討している。公民館まつり(文化祭)の内容構成等について情報交換を行った。

イ 公民館事業の報告について

貫井南分館から、市民講座「男のための掃除道入門」、成人学校「空手の形を体験してみよう」を提出。委員からは報告の中に年代別参加者数の記載、開催曜日について土日開催で、平日参加できない方への配慮をお願いしたいとの意見が出された。

ウ 講座管理システムについて

今年度10月から5年契約の賃貸借を行うシステムは、今年度テストを行い、来年度本格運用に入る。遠隔地にいる講師からの配信による学習室での講座、公民館に来館できない方への配慮として、機器を通して自宅のインターネット画面への配信を行う。テストは公開を行わないが、公民館運営審議会、企画実行委員にも協力いただき、画面確認を行ってもらう予定。講座の運営方法は検討中。

2 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館から成人学校「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」、市民講座「私の、家族の、高齢期への備えを考えよう“成年後見人制度”について学ぶ」を提出。質疑なし。市民映画会は実施会場を固定しないよう要望が出され、検討課題とした。

3 協議事項

小金井市行財政改革2025及び小金井市公民館中長期計画に基づく公民館緑分館の委託化について ⇒ 公民館長から委員長へ諮問を行った。

回答に要する審議期間が今回及び1月、4月の計3回となるが、委員長提案で3月も協議を行うこととなった。緑分館の特色、事業評価のタイミング、稼働率についての質問が出たこと、緑分館を青少年センター機能があることから子どもの育成の拠点とするのはどうかなどの意見が出された。今後の進め方について事務局で骨子案を作成することとした。

4 その他

ア 公共施設予約システムについて

令和5年4月からリニューアルする。公民館でも市民向け操作説明会を実施する。

イ 公民館使用料について

社会教育活動の線引きが難しい。徴収方法になどについて他市へ調査を行う。

次回の日程 令和5年1月12日(水) 午前10時から公民館緑分館

貫井南分館

高齢者学級	けやき学級
-------	-------

目的 高齢者の置かれた現状と課題を見据え、「生きがいのある毎日のために」をテーマに、共に学び、行動し、社会参加のあり方を考え、生きがいを見出す。

日程・内容・講師 別表のとおり

場 所 貫井南分館学習室A B



募集方法 市報4月15日号、月刊こうみんかん4月号、チラシ、ポスター、市ホームページ 申し込み多数のときは抽選（往復はがきで応募）

人 数 65歳以上の市民20人 応募31人 受講20人（男性4人、女性16人）延べ参加者 301人 出席率 89%
平均年齢：79.9歳（男女別：男性81歳 女性79.6歳）

担当企画実行委員

阿部 光子、今村 誠、大野 芳輝、金ヶ江博紀、齊藤美恵子、高橋 陽子

担当職員 伊藤 修、松本 浩明

担当職員感想 昨年と同様に、コロナ感染拡大予防対策を採りながら学級生20人での開催となった。机1脚に1人の配置で、なかなか学級生同士のコミュニケーションが取りづらい中、5月下旬にコミュニケーションを第一に取る目的で「遠足」（江戸東京たてもの園）に出かけたことにより学級生同士のコミュニケーションが図られた。また、学級生念願の野外学習「柴又帝釈天散策と寅さん記念館」に行けたことは大変有意義であった。

参加者感想

- 係員の気配りが良く、大変良かった。
- 毎回とても楽しく過ごさせて頂き感謝です。終わってしまったのがさみしいです。有難うございました。班の皆さんも良い方ばかりでした。
- 良い仲間に出会い楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

令和4年度けやき学級日程表

回	月 日	曜	内 容	講 師
1	5/18	水	開講式「オリエンテーション」	—
2	5/25	水	遠足「江戸東京たてもの園」	—
3	6/1	水	川崎平右衛門	花木 知子 (郷土の森博物館学芸員)
4	6/8	水	皆さんで歌いましょう	木下 容子 (東邦音楽大学准教授)
5	6/15	水	スポーツウエルネス吹矢に挑戦	杉山 勝英 (日本スポーツウエルネス 吹矢協会小金井支部長)
6	7/6	水	俳句でリフレッシュ	守屋 明俊 (俳人協会評議員・ 俳誌「閑」代表)
7	7/13	水	楽しい脳トレ教室	小林 雅一 (世田谷シニア学園講師)
8	7/20	水	防災講話 or 津軽三味線演奏(予定)	小金井警察署生活安全課防犯係 保谷 匠(津軽三味線演奏家)
9	9/7	水	A I と私たちの暮らし	久保田 直行 (東京都立大学教授)
10	9/14	水	NICT情報通信研究機構本部展示室 ツアー	—
11	9/21	水	映像で見る小金井の歴史	多田 哲 (文化財センター学芸員)
12	10/5	水	世界情勢「世界の動きと日本」	茂木 貴 (国際情勢アナリスト)
13	10/12	水	健康体操	東急スポーツ オアシストレーナー
14	10/19	水	文学「山本有三」	山田 有策 (東京学芸大学名誉教授)
15	10/26	水	野外学習「猿島&ドブ板通り」	—
16	11/2	水	落語を楽しもう	柳亭こみち(落語家) 予定
17	11/9	水	閉講式	—

時間はいずれも午前10時から正午まで

(敬称略)

野外学習は、おおむね午前8時30分から午後5時まで

貫井南分館

成人学校

「楽しくトレッキング ～都民の森・紅葉編～」

目的 本格的な登山ではなく、初歩的なトレッキングを学びながら、同じ趣味の仲間づくりを目的とする。

日時 1日目 令和4年11月2日(水)
午後2時から午後4時
2日目 令和4年11月8日(火)
午前8時から午後5時



内容 都民の森が提示している6つの散策コースの中から、三頭沢と野鳥の森コースを選択。森林館を出て途中、滝見橋から三頭大滝を見学し、その後回廊の路を通り鞆口峠を経て、森林館へ戻る。

講師 越前屋 博さん(北多摩山の会)

場所 1日目 公民館貫井南分館 学習室A・B(事前学習)
2日目 都民の森(西多摩郡檜原村数馬7146)(トレッキング)

募集方法 市報10月1日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、ホームページ、ツイッター

対象 市内在住、在勤、在学の18歳以上で2時間以上歩ける方。
2日間参加出来る方。

応募・受講者人数等 募集 10人(多数抽選) 応募 24人
受講 10人(男性3人、女性7人)

年代別受講者人数 50代 1人、60代 3人、70代 5人、80代 1人

受講者平均年齢 全体：70.3歳
(男性3人：67歳、女性7人：71.7歳)

担当企画実行委員 齊藤美恵子

担当職員 伊藤 修、永嶋 汐美

担当職員感想 今年度は事前学習とトレッキングの2日間参加できる方としたが、応募は2倍を超えた。トレッキング当日は天候にも恵まれ、現地の紅葉も見頃だったので、受講生は楽しめた様子だった。

参加者感想 ○本当に楽しく歩けました。ありがとうございました。
○真快晴の天気にもぐまれ、紅葉も最高調の時期に自分としては初めてのトレッキングを体験出来てとても満足しました。スタッフの皆さんのおかげで大成功だったと思います。

貫井南分館

市民講座

「怒る人も怒れない人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント講座」

目的 人の感情として無くすことは出来ない“怒り自分の怒り方を見直し、普段のコミュニケーションに役立てる。

日程 令和4年11月16日（水）午前10時～正午

内容 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など“怒りのメカニズム”について学び、最近自分が怒ったことを例として分析・対処法を考える

講師 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）

場所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 無料

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話、Eメールまたは直接貫井南分館窓口まで。

対象 市内在住・在勤・在学の方

人数 募集 20人 応募21人（男性3人、女性18人）

受講 18人（男性3人、女性15人） 参加率90%

参加年代 30代3人、40代3人、50代6人、60代4人、70代3人

担当企画実行委員 高橋 陽子、斎藤 美恵子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 夏休み前に開催した子ども向け講座から、大人向けの講座を開催したところ、高齢の方から子育て世代まで幅広い年代に興味をもってもらうことができた。

年代関係なく、自分の怒りの根底が何かという気づきと今日から怒り方を変えていくことができるきっかけの一步を講師から学んでいた。

講座終了後も講師の話を熱心に聞く様子から、コミュニケーションに悩み、心理的な学びを切実に必要としている人が多くいることを感じた。

参加者感想

・具体的にわかりやすい講義をしてくださり良かったです。参考になりました

・思った以上に勉強になる内容でした。できれば夫婦で参加したいと思いました。夫もアンガーマネジメントに興味はありますが、なかなか時間が取れず、子育てで悩みが多く役立つ考えが得られたと思います。

・怒りについて知れたので本当に良かったです。助かりました。ありがとうございました。

・とても分かりやすい講座でした。アンガーマネジメントについて更に学ぼうと思います。



貫井南分館

市民講座

山本有三を知る

目的 小金井市近隣の作家の人となりや作品、山本有三記念館などを紹介することで文学への興味、本への愛着を持ってもらう。

とき・ところ・内容

- 1 1月17日（木）「作家・山本有三と三鷹の家の来歴」
〃 24日（木）「三鷹時代の山本有三ー作家及び文化人としての活躍ー」
いずれも午前10時から正午まで、公民館貫井南分館学習室ABで。

講師 三浦 穂高さん（三鷹市山本有三記念館学芸員）

募集方法 市報11月1日号 月刊こうみんかん11月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数 20人（申込順） 応募人数 12人
受講生 11人（男性8人、女性3人） 受講率91%
参加年代 60代3人、70代6人、80代1人、90代1人

担当企画実行委員 金ヶ江博紀

担当職員 松本 浩明

職員感想

作家・戯曲家としてだけでなく、国語教育のために尽くしたことなど精力的に活動していたことのほか、以外にも東京大阪朝日新聞に連載した「女の一生」の挿絵が中村研一、三鷹の家を紹介したのが小金井の恩田など意外なところで小金井も絡んでいることを知ることができ有意義な講座でした。

参加者感想

- 作家と建物、両面にわたって分かり易いお話しで、とても興味深く聞くことができました。有三が生きた時代、建物が流転した時代の様子も分かり厚みのある内容だった。
- 三鷹の邸についてだけでなく、作品数点についても詳しく話して頂き、大変満足でした。また、人物像にも迫り、興味の湧くものでした。
- 山本有三と言えば「路傍の石」くらいしか知らなかったが、この講座を聞いて、色々なことが分かりました。三鷹市山本有三記念館へ行ってみたいと思います。
- 大変詳しく説明されて本当に楽しい講座でした。

貫井南分館

成人学校	「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」
------	----------------------

目的 市内で活動する講師を招き、ものづくりを通して地域コミュニケーションを図る。

日程 令和4年12月3日（土）午前10時～正午

内容 水引を使って同じ結び方で三種類の水引細工を結び、正月飾りを作る

講師 小松 慶子さん（水引デザイナー/紙単衣主宰）

ところ 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 800円（材料費）

募集方法 市報11月15日号 月刊こうみんかん11月号 チラシ 市ホームページ Twitter

申込多数の場合、抽選

電話または直接貫井南分館窓口まで

人数 募集 10人 応募26人（男性1人、女性25人）

受講 10人（男性1人、女性9人） 参加率100%

参加年代 40代 1人 50代 3人 60代 3人

70代 3人

担当企画実行委員 阿部 光子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想

今回は、同じ結び方をサイズや本数を替えてアレンジするものだった、一度覚えるとすぐにできる人から本数が増えると結び方がわからなくなる人と様々であったが、全員が完成することができた。

参加者からはイメージしていた正月飾りとは違ったがきれいに結ぶ難しさを実感したと感想を貰った。

参加者感想

・一回作ってみたかった水引だったのでとても楽しかったです。自分でも作ってみたいです、いつもいい企画をありがとうございます。

・公民館という行きやすい場所で興味があったことにチャレンジできてとても楽しい時間になりました。ありがとうございました。市報など気を付けて読みながらまた面白いことに参加したいです。

・子どもがいてなかなか参加したくてもできなかったのが、本日は一緒に参加できてとても楽しかったです。子どももできたことにととても満足していました。ありがとうございました。



講師作品

令和4年度 成人学校「植物学者 牧野富太郎を知る」

目的 来年度、NHK朝ドラの主人公となる植物学者「牧野富太郎」自身の生きざまと功績をより多くの人に知ってもらおう。

日程・会場 令和5年3月5日（日）午前10時～正午 学習室AB

講師 伊藤 千恵さん（練馬区立牧野記念庭園学芸員）

内容 人となり、生き様、功績紹介ほか植物の紹介も行う。

対象 市内在住・在学・在勤の方 20人（申込順）

広報 市報2月1日号、月刊こうみんかん2月号、小金井市HP、小金井市ツイッター他

その他

- 12月20日までに、講義概要を送付してくれる。
- 公民館で用意する物など今後、メールでの調整を行う。

担当 金ヶ江・松本